

日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

Samaguchi, et al.

February 1, 2000

McDermott, Will & Emery

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.



出願年月日
Date of Application:

1999年 4月30日

出願番号
Application Number:

平成11年特許願第123710号

願人
Applicant(s):

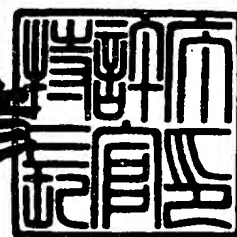
松下電器産業株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 1月 7日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤隆彦



【書類名】 特許願

【整理番号】 P11055

【提出日】 平成11年 4月30日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 07/173

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 村田 和行

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 山口 岳人

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 桑野 秀之

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 岡田 雄治

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 高橋 直樹

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 田中 丈二

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内

【氏名】 久富 健治

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100083172

【弁理士】

【氏名又は名称】 福井 豊明

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009483

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9713946

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 デジタル複合機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 対話型操作手段より登録指示を受けたとき、文書画像入力手段より入力された文書画像データを該文書画像データを特定する文書 ID を付して記憶手段に登録する文書管理手段と、上記文書 ID に対応する文書 ID マークと上記文書画像データの所定頁とを合成することによって文書 ID マーク付き文書画像データを生成するパターン合成手段と、上記パターン合成手段よりの文書 ID マーク付き文書画像データを出力する出力手段とを備えたデジタル複合機において、

上記記憶手段への登録に関する各種事項をユーザに問い合わせるとともに、該問い合わせに対してユーザが指定した情報に基づいて上記文書管理手段に指示をする上記対話型操作手段を備えたことを特徴とするデジタル複合機。

【請求項 2】 上記対話型操作手段が、文書画像データとして文書画像入力手段より入力する紙文書が最終頁であるか否かを登録モードに応じたタイミングでユーザに問い合わせる請求項 1 に記載のデジタル複合機。

【請求項 3】 上記対話型操作手段が、文書画像データとして文書画像入力手段より入力する紙文書が最終頁であるか否かを文書画像データの最終頁が文書画像入力手段より入力された後にユーザに問い合わせる請求項 2 に記載のデジタル複合機。

【請求項 4】 上記対話型操作手段が、文書画像データとして文書画像入力手段より入力する紙文書が最終頁であるか否かを文書画像データの先頭頁が文書画像入力手段より入力される前にユーザに問い合わせる請求項 2 に記載のデジタル複合機。

【請求項 5】 上記対話型操作手段が、文書 ID マーク付き文書画像データとともに該文書 ID マーク付き文書画像データに対応する文書画像データの全頁を出力手段より出力するか否かをユーザに問い合わせる請求項 1 または 4 に記載のデジタル複合機。

【請求項 6】 上記対話型操作手段が、文書画像データの第 1 頁と文書 ID

マークとを合成したノーマル或いは文書画像データの所定頁分のイメージを含む画像データと文書IDマークとを合成したサムネールのいずれを上記文書IDマーク付き文書画像データの出力形態とするかをユーザに問い合わせる請求項1に記載のデジタル複合機。

【請求項7】 上記記憶手段が、ハードディスク・リムーバブルメディア・ネットワーク接続されたサーバのうちの少なくとも1種である請求項1に記載のデジタル複合機。

【請求項8】 上記対話型操作手段が、ハードディスク・リムーバブルメディア・ネットワーク接続されたサーバのいずれに文書画像データを登録するかをユーザに問い合わせる請求項7に記載のデジタル複合機。

【請求項9】 上記対話型操作手段が、ハードディスクに登録した文書画像データをリムーバブルメディア或いはネットワーク接続されたサーバのいずれにコピーするかをユーザに問い合わせる請求項7に記載のデジタル複合機。

【請求項10】 上記対話型操作手段が、ハードディスクに登録した文書画像データをリムーバブルメディア或いはネットワーク接続されたサーバのいずれに移動するかをユーザに問い合わせる請求項7に記載のデジタル複合機。

【請求項11】 対話型操作手段より取り出し指示を受けたとき、文書画像入力手段より入力された文書IDマーク付き文書画像データに含まれる文書IDマークを文書IDに変換した後、該文書IDによって特定される文書画像データを記憶手段より取り出す文書管理手段と、上記文書管理手段によって取り出された文書画像データを出力する出力手段とを備えたデジタル複合機において、

上記記憶手段よりの取り出しに関する各種事項をユーザに問い合わせるとともに、該問い合わせに対してユーザが指定した情報に基づいて上記文書管理手段に指示をする上記対話型操作手段を備えたことを特徴とするデジタル複合機。

【請求項12】 上記対話型操作手段が、出力手段より出力する文書画像データの属性情報を当該対話型操作手段のコントロールパネルに表示するか否かをユーザに問い合わせる請求項11に記載のデジタル複合機。

【請求項13】 上記対話型操作手段が、出力手段より出力する文書画像データの頁範囲をユーザに問い合わせる請求項11に記載のデジタル複合機。

【請求項 1 4】 上記対話型操作手段が、文書画像データの第 1 頁と文書 ID マークとを合成したノーマル或いは文書画像データの所定頁分のイメージを含む画像データと文書 ID マークとを合成したサムネールのいずれを上記文書画像データの出力形態とするかをユーザに問い合わせる請求項 1 1 に記載のデジタル複合機。

【請求項 1 5】 複数の文書 ID マーク付き文書画像データが文書画像入力手段より入力されている途中にエラーが発生した場合、上記対話型操作手段が、当該入力を再開するか否かをユーザに問い合わせる請求項 1 1 に記載のデジタル複合機。

【請求項 1 6】 上記文書 ID マーク付き文書画像データの入力に代えて文書画像データの登録者・登録期間・登録源のうちの少なくとも 1 つが取り出し条件として上記対話型操作手段より指示入力された場合、上記対話型操作手段が、上記取り出し条件を満たす文書画像データのいずれを出力手段より出力するかをユーザに問い合わせる請求項 1 1 に記載のデジタル複合機。

【請求項 1 7】 上記対話型操作手段が、上記取り出し条件を満たす文書画像データに代えて該文書画像データに対応する文書 ID マーク付き文書画像データを出力手段より出力するか否かをユーザに問い合わせる請求項 1 6 に記載のデジタル複合機。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、デジタル複合機に関し、特に、文書画像データの登録および取り出しが可能なデジタル複合機に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

図 1 3 は特開平 1 0 - 3 0 8 8 6 8 号に開示されるデジタル複合機の概略機能ブロック図であり、以下その構成を動作とともに説明する。

【0 0 0 3】

まず、登録動作について説明する。

【0004】

例えばスキャナ等の画像読み取り手段13が備えたオートドキュメントフィーダ（以下「ADF」という）に紙文書がセットされた状態でコントロールパネル92（図示せず）より「登録」が指示入力されると、画像読み取り手段13は、ADFによって1枚ずつフィードされる紙文書を文書画像データに変換してメモリ79に格納する。このように文書画像データが格納されると、文書管理手段3は、例えば8桁の数字等からなる文書IDを発行した後、この文書IDに対応するファイル名を付して上記文書画像データを記憶手段97に登録（例えばハードディスク等）するとともに上記文書IDを文書IDエンコード手段手段4に渡す。これを受けた文書IDエンコード手段手段4は、上記文書IDに対応する文書IDマークを生成した後、この文書IDマークをパターン合成手段8に渡す。これを受けたパターン合成手段8は、上記文書IDマークと上記文書画像データの所定頁（先頭頁や特徴的な画像を持つ頁等）とを合成することによって文書IDマーク付き文書画像データ（以下「マーク付き表紙画像データ」という）を生成し、このマーク付き表紙画像データを出力手段9（例えばプリンタ等）に渡す。この結果、図10に示すマーク付き表紙が出力手段9より印刷されることになる。

【0005】

次に、取り出し動作について説明する。

【0006】

ADFにマーク付き表紙がセットされた状態でコントロールパネル92より「取り出し」が指示入力されると、画像読み取り手段13は、上記マーク付き表紙をマーク付き表紙画像データに変換してメモリ79に格納する。このようにマーク付き表紙画像データが格納されると、文書管理手段3は、デコード処理を開始するよう文書IDデコード手段5に指示し、この指示を受けた文書IDデコード手段5は、上記マーク付き表紙画像データに含まれる文書IDマーク画像データを文書IDにデコードした後、この文書IDを文書管理手段3に返す。これを受けた文書管理手段3は、上記文書IDに対応する文書画像データを記憶手段97より取り出した後、この文書画像データを出力手段9に渡す。この結果、上記マ

ーク付き表紙に対応する紙文書が出力手段 9 より印刷されることになる。

【0 0 0 7】

以上のように、マーク付き表紙を用いた構成によれば、文書 I D を指示入力する等の煩わしい操作をすることなく所望の文書画像データを取り出すことができる。

【0 0 0 8】

なお、ここでは、文書画像データの入力源（文書画像入力手段 1）として画像読み取り手段 1 3 を例示しているが、ファクシミリよりの画像データを受信するファクシミリ受信手段 1 4 やコンピュータよりのプリント画像データを受信するプリント画像受信手段 1 5 を上記入力源とすることもできる。

【0 0 0 9】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら上記従来のデジタル複合機には、登録や取り出しに関する各種事項についての選択肢が乏しいという課題があった。

【0 0 1 0】

本発明は上記従来の事情に基づいて提案されたものであって、登録や取り出しに関する各種事項を簡便な操作で選択できるようにしたデジタル複合機を提供することを目的とするものである。

【0 0 1 1】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記目的を達成するために以下の手段を採用している。すなわち図 1 に示すように、文書画像データの登録および取り出しが可能なデジタル複合機において、対話型操作手段 1 0 は、登録あるいは取り出しの指示を受けたとき、登録あるいは取り出しに関する各種事項をユーザに問い合わせるとともに該問い合わせに対してユーザが指定した情報に基づいて文書管理手段 3 0 0 に指示をする。これによってユーザは、登録や取り出しに関する各種事項を簡便な操作で選択できる。

【0 0 1 2】

【発明の実施の形態】

以下に本発明の実施の形態を図面に従って詳細に説明する。

【0013】

図1は、本発明を適用したデジタル複合機の概略機能ブロック図であり、以下その構成を上記従来例と異なる点のみ説明する。

〔登録〕

A D Fに紙文書がセットされた状態で図2に示すコントロールパネル102の拡張機能キーが押下されると、表示入力制御部92aは、コントロールパネル102に含まれるタッチパネルに図示しないユーザ認証画面を表示し、ユーザ認証が完了すると図3(a)に示す機能選択画面(「登録機能」が選択された状態を示す)を表示する。ユーザ認証の具体的な方法は本発明の要旨ではないので説明を省略する。

【0014】

機能選択画面において、以下に説明する“登録先”“アクセス権”“登録解像度”についての選択がされる度この選択情報は表示入力制御部101に保持され、「OK」が押下されると表示入力制御部101は図3(b)に示す登録形態選択画面をタッチパネルに表示する。“登録先”とは登録対象である文書画像データの保存先を意味し、“アクセス権”とは登録対象である文書画像データに対するアクセス権を意味し、“登録解像度”とは登録対象である文書画像データの解像度を意味する。

【0015】

ここで、表示入力制御部92aは、登録形態選択画面の「表紙形態」が押下される度、マーク付き表紙の形態(出力形態)イメージを表紙形態表示エリアに順次表示する(図3(c)参照: “ノーマル”→“サムネール”→“ファクス用”→“ノーマル”→...)。“ノーマル”“サムネール”“ファクス用”がどのような形態であるかについては後述する。

【0016】

各種登録形態(上記した表紙形態等)についての選択がされる度この選択情報は表示入力制御部101に保持され、登録形態選択画面の「OK」が押下されたのちコントロールパネル102のスタートキー(図2参照)が押下されると、表

示入力制御部 101 は、ADF にセットされている紙文書の読み取りを開始するよう画像読み取り手段 13 に指示するとともに保持している選択情報を文書管理手段 300 に渡す。

【0017】

上記指示を受けた画像読み取り手段 13 は、ADF によって 1 枚ずつフィードされる紙文書を文書画像データに変換してメモリ 79 に格納した後、読み取りが完了した旨を表示入力制御部 101 に通知し、この通知を受けた表示入力制御部 101 は、ADF にセットできなかった紙文書が存在するか否かをユーザに問い合わせるため“この文書が最終文書ですか？”等のメッセージをタッチパネルに表示する。登録対象である紙文書の枚数が多いときには一度に紙文書の全部を ADF にセットできない場合があり、この場合は、複数回に分けて ADF にセットされた紙文書を 1 の文書画像データとして取り扱う（後述する）必要があるため上記問い合わせをするようにしている。

【0018】

上記メッセージに対する回答として「いいえ」が押下されるなど ADF にセットできなかった紙文書が存在する旨が指示入力されると（この指示入力をする前に残りの紙文書を ADF にセットしておく）、表示入力制御部 101 は、ADF にセットされている紙文書の読み取りを開始するよう画像読み取り手段 13 に指示する。この指示を受けた画像読み取り手段 13 は、上記と同様の手順で文書画像データをメモリ 79 に格納した後、読み取りが完了した旨を表示入力制御部 101 に通知し、この通知を受けた表示入力制御部 101 は上記メッセージをタッチパネルに表示する。

【0019】

一方、上記メッセージに対する回答として「はい」が押下されるなど ADF にセットできなかった紙文書が存在しない旨が指示入力されると、表示入力制御部 101 は、登録を開始するよう文書管理手段 300 に指示する。

【0020】

以降は、上記のように文書管理手段 300 に渡された選択情報に基づいて各種登録処理が行われる点を除けば上記従来技術において説明した通りである。

【0021】

すなわち、文書管理手段300は、“登録先”として「本体」が選択されている場合にはハードディスク97に文書画像データを登録し、“登録先”として「リムーバブルメディア」が選択されている場合には図示しないリムーバブルメディアドライブにセットされたリムーバブルメディア（例えば光磁気ディスク等）に文書画像データを登録し、“登録先”として「サーバ」が選択されている場合には当該デジタル複合機にLANコントローラLCを介して接続されたサーバ（図示せず）に文書画像データを登録する。リムーバブルメディアやサーバに文書画像データを登録する場合（このような登録機能は上記従来のデジタル複合機が備える機能であるため説明を省略する）、この登録に先立ってハードディスク97に文書画像データを一時保存するのが好ましい。このようにすれば、リムーバブルメディアの空き容量が少ない場合やサーバへの接続が失敗した場合であっても、ハードディスク97へは確実に文書画像データを登録できる。

【0022】

また、文書管理手段300は、“ノーマル”“サムネール”“ファクス用”のいずれが表紙形態として選択されているかをパターン合成手段8に通知し、この通知を受けたパターン合成手段8は、表紙形態として“ノーマル”が選択されている場合には上記従来技術において説明した形態（図10参照）でマーク付き表紙を生成し、表紙形態として“サムネール”が選択されている場合には登録対象である文書画像データの所定頁分（例えば先頭9頁分）のイメージを含む形態（図11参照）でマーク付き表紙を生成し、表紙形態として“ファクス用”が選択されている場合には文書IDマークを大きく表示した形態（図12参照）でマーク付き表紙を生成する。サムネールやファクス用の形態でマーク付き表紙を生成する機能は上記従来のデジタル複合機が備える機能であるため、ここでは説明を省略する。

【0023】

ここで、ADFにセットできなかった紙文書が存在するか否かをユーザに問い合わせる手順としたのは、マーク付き表紙を生成する際に文書画像データの先頭頁（或いは先頭9頁）を特定できるようにするためである。すなわち、上記手順

によれば、一度に紙文書の全部をADFにセットできない場合であっても最後に先頭頁がフィードされるように紙文書をセットすることによって、パターン合成手段8は、最後にメモリ79に格納された頁を先頭頁として特定できる。

【0024】

ただし、登録とともにコピーをするコピー登録モードである場合、すなわちマーク付き表紙画像データとともに該マーク付き表紙画像データに対応する文書画像データの全頁を出力手段9より出力するモードである場合には、画像読み取り手段13によって読み取られた文書画像データが直ちに出力手段9によって印刷されることになるため、当該登録において最初の読み取りを画像読み取り手段13が開始する前に上記問い合わせをするようにしている。

【0025】

なお、このようなコピー登録機能およびコピー登録モードと通常の登録モードとの切換機能は上記従来のデジタル複合機が備える機能であるため、ここでは詳しい説明を省略する。

〔取り出し〕

コントロールパネル102の拡張機能キーが押下されると、表示入力制御部92aは、上記登録と同様の手順で図4(a)に示す機能選択画面（「取り出し機能」が選択された状態を示す）をタッチパネルに表示する。

【0026】

機能選択画面では、“認識方法” “文書形態” “文書属性表示” についての選択をする。“認識方法” とは、取り出し対象である文書画像データの認識方法（特定方法）を意味し、「マーク付き表紙」「ID入力」のいずれかを選択する。

“文書形態” とは、取り出し対象である文書画像データの出力形態を意味し、「ノーマル」「サムネール」「ファクス用」のいずれかを選択する。“文書属性表示” とは、取り出し対象である文書画像データの属性情報の表示を意味し、「あり」「なし」のいずれかを選択する。

【0027】

以下、“認識方法” には「マーク付き表紙」が選択され、“文書形態” には「ノーマル」が選択され、“文書属性表示” には「あり」が選択された場合の動作

を説明する。

【0028】

A D Fにマーク付き表紙がセットされた状態でコントロールパネル102のスタートキーが押下されると、表示入力制御部101は、A D Fにセットされているマーク付き表紙の読み取りを開始するよう画像読み取り手段13に指示するとともに保持している選択情報を文書管理手段300に渡す。

【0029】

上記指示を受けた画像読み取り手段13は、A D Fによってフィードされるマーク付き表紙をマーク付き表紙画像データに変換してメモリ79に格納する。このようにマーク付き表紙画像データが格納されると、文書管理手段300は、上記従来と同様の手順で文書IDデコード手段5より文書IDを受けた後、この文書IDに対応する属性情報を属性管理テーブルT10（図9参照）より取得して表示入力制御部101に渡す。

【0030】

ここで、表示入力制御部101は、上記属性情報に含まれる“文書ID”“保存日”“入力元”等の情報を図4（b）に示す属性表示画面の所定エリアに配置して表示する。このようにすれば、ユーザは、取り出し対象である文書画像データの概要を確認したうえで取り出し可否を判断できる。

【0031】

また、属性表示画面では、「ページ指定あり」を選択することによって文書画像データの取り出し頁範囲を指定でき、ここで指定された情報は選択情報として表示入力制御部101に保持される。

【0032】

その後、属性表示画面の「OK」が押下されると、表示入力制御部101は保持している選択情報を文書管理手段300に渡し、これを受けた文書管理手段300は、「ページ指定なし」が選択されている場合には上記文書IDに対応する文書画像データの全頁を、「ページ指定あり」が選択されている場合には上記文書IDに対応する文書画像データの指定された頁のみをハードディスク97より取り出して出力手段9に渡す。

【0 0 3 3】

以上のように本発明を適用したデジタル複合機によれば、登録や取り出しに関する各種事項を簡便な操作で選択できる。

【0 0 3 4】

なお、ここでは、1枚のマーク付き表紙を用いて1の文書画像データを取り出す手順を説明したが、複数枚のマーク付き表紙を用いて複数の文書画像データを取り出すこともできる。このような取り出しでは、マーク付き表紙の読み込み途中でエラーが発生した場合（例えば4枚のマーク付き表紙を用いて4の文書画像データを取り出す際に2枚目のマーク付き表紙の読み込み途中でエラーが発生した場合）、表示入力制御部 1 0 1 は、当該入力を再開するか否かをユーザに問い合わせるようにしている。

【0 0 3 5】

また、ここでは、取り出し対象である文書画像データはハードディスク 9 7 に登録されていることを前提に説明しているが、上記文書画像データはリムーバブルメディアやサーバに登録されていても同様に取り出すことができる。このような3種の記憶手段 9 7 を採用する場合、文書管理手段 3 0 0 は、取り出し対象である文書画像データをリムーバブルメディア→ハードディスク 9 7 →サーバの順に検索する（探す）ようにしている。

〔管理〕

本発明を適用したデジタル複合機によれば、登録や取り出しに関する各種事項だけでなく、登録された文書画像データの管理（文書コピー・文書移動・文書削除・表紙取り出し）に関する各種事項も簡便な操作で選択できる。

【0 0 3 6】

以下、文書コピーについて説明する。

【0 0 3 7】

コントロールパネル 1 0 2 の拡張機能キーが押下されると、表示入力制御部 9 2 a は、上記登録と同様の手順で図 5（a）に示す機能選択画面（「管理機能」が選択された状態を示す）を表示し、この機能選択画面の「文書コピー」が押下されると図 5（b）に示すコピー設定画面を表示する。

【0038】

コピー設定画面では、“認識方法” “文書属性表示” “コピー先” についての選択をする。“認識方法” とは、コピー元文書画像データの認識方法を意味し、“マーク付き表紙” “ID入力” “期間入力元指定” のいずれかを選択する。“文書属性表示” とは、コピー元文書画像データの属性情報の表示を意味し、“あり” “なし” のいずれかを選択する。“コピー先” とは、コピー先文書画像データの登録先を意味し、“リムーバブル” “サーバ” のいずれかを選択する。

【0039】

以下、“認識方法” には「期間入力元指定」を選択し、“文書属性表示” には「あり」を選択し、“コピー先” には「リムーバブル」を選択した場合の動作を説明する。

【0040】

コピー設定画面の「期間入力元指定」が押下されると、表示入力制御部 92a は、図 5 (c) に示す期間入力元指定画面を表示し、この期間入力元指定画面に示す“期間” “入力元” “登録者” についての選択がされた後「OK」が押下されると、この選択情報に対応する属性情報を返すよう文書管理手段 300 に指示する。なお、“期間” には、コピー元文書画像データが登録されたと思われる期間を範囲指定し、“入力元” には、コピー元文書画像データの入力元形式として「ファクス送信」 「ファクス受信」 「コピー」 「プリンタ」 「登録（画像読み取り手段 13）」 のいずれかを選択し、“登録者” には、コピー元文書画像データの登録者として「本人」 「登録他者（本人以外の登録者）」 「未認証者」 のいずれかを選択する。

【0041】

上記指示を受けた文書管理手段 300 は、上記選択情報に対応する属性情報（“期間” “入力元” “登録者” として選択された条件を満たす属性情報）を属性管理テーブル T10 より取得して表示入力制御部 101 に返し、これを受けた表示入力制御部 101 は、上記属性情報の件数を該当文書数として上記コピー設定画面（この状態は図示せず）に表示する。

【0042】

その後、“文書属性表示”として「あり」が選択され“コピー先”として「リムーバブル」が選択された状態でコントロールパネル102のスタートキーが押下されると、表示入力制御部101は、上記属性情報（複数存在する場合そのうちのいずれか）に含まれる“文書ID”“保存日”“入力元”等の情報を図5（d）に示すコピー元属性表示画面の所定エリアに配置して表示する。このようにすれば、ユーザは、コピー元文書画像データの概要を確認したうえでコピー要否を判断できる。

【0043】

ここで、コピー元属性表示画面の「キャンセル」が押下されたとき、表示入力制御部101は、別の属性情報が存在する場合には該属性情報に基づいて上記コピー元属性表示画面の所定エリアの表示内容を更新し、別の属性情報が存在しない場合には図示しない初期画面を表示する。

【0044】

一方、コピー元属性表示画面の「OK」が押下されたときの表示入力制御部101は、保持している選択情報（上記のように表示した属性情報に対応する文書画像データの文書ID等）とともにコピーを開始するよう文書管理手段300に指示し、この指示を受けた文書管理手段300は、上記文書IDによって特定されるハードディスク97上の文書画像データをリムーバブルメディアへコピーする。

【0045】

以上のように本発明を適用したデジタル複合機によれば、簡便な操作で文書コピーに関する各種事項を選択できる。

【0046】

なお、ここでは、ハードディスク97上の文書画像データをリムーバブルメディアにコピーする場合を例示したが、ハードディスク97・リムーバブルメディア・サーバ間で相互に文書画像データをコピーできることはいうまでもない。

【0047】

また、文書移動については、“コピー先”に代えて“移動先”を選択する点および“登録者（期間入力元指定画面参照）”についての選択をしない点を除いて

上記文書コピーと同様であり、文書削除については、“コピー先”に代えて“登録先”を選択する点および“登録者”についての選択をしない点を除いて上記文書コピーと同様であり、表紙取り出しについては、“コピー先”に代えて“取り出し形態”を選択する点を除いて上記文書コピーと同様であるため、ここでは詳しい説明を省略する。なお、文書コピーおよび表紙取り出しでは“登録者”についての選択をするのに文書移動および文書削除では“登録者”についての選択をしないのは、文書移動および文書削除ができるユーザを、その操作対象である文書画像データの登録者のみに限定しているからである。

【0048】

更に、ここでは、登録された文書画像データの管理は当該デジタル複合機において行うこととしているが、このような管理はサーバにおいて行うようにしてもよい。

【0049】

更に、ここでは、登録・取り出し・管理に関する各種事項のデフォルト値を変更する方法については特に言及していないが、対話型操作手段10を介してユーザが指示入力した情報（上記デフォルト値）を格納するデフォルト値格納手段（図6～図8参照）を備えるとともに、このデフォルト値格納手段の内容に基づいて各手段が登録・取り出し・管理をするようにしてもよい。

【0050】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、登録や取り出しに関する各種事項を簡便な操作で選択できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用したデジタル複合機の概略機能ブロック図である。

【図2】

コントロールパネルの概略外観図である。

【図3】

登録時におけるタッチパネルの状態図である。

【図 4】

取り出し時におけるタッチパネルの状態図である。

【図 5】

文書コピー時におけるタッチパネルの状態図である。

【図 6】

デフォルト値格納手段の内部構成例（1／3）である。

【図 7】

デフォルト値格納手段の内部構成例（2／3）である。

【図 8】

デフォルト値格納手段の内部構成例（3／3）である。

【図 9】

属性管理テーブルの内部構成例である。

【図 1 0】

マーク付き表紙（ノーマル）の説明図である。

【図 1 1】

マーク付き表紙（サムネール）の説明図である。

【図 1 2】

マーク付き表紙（ファクス用）の説明図である。

【図 1 3】

従来のデジタル複合機の概略機能ブロック図である。

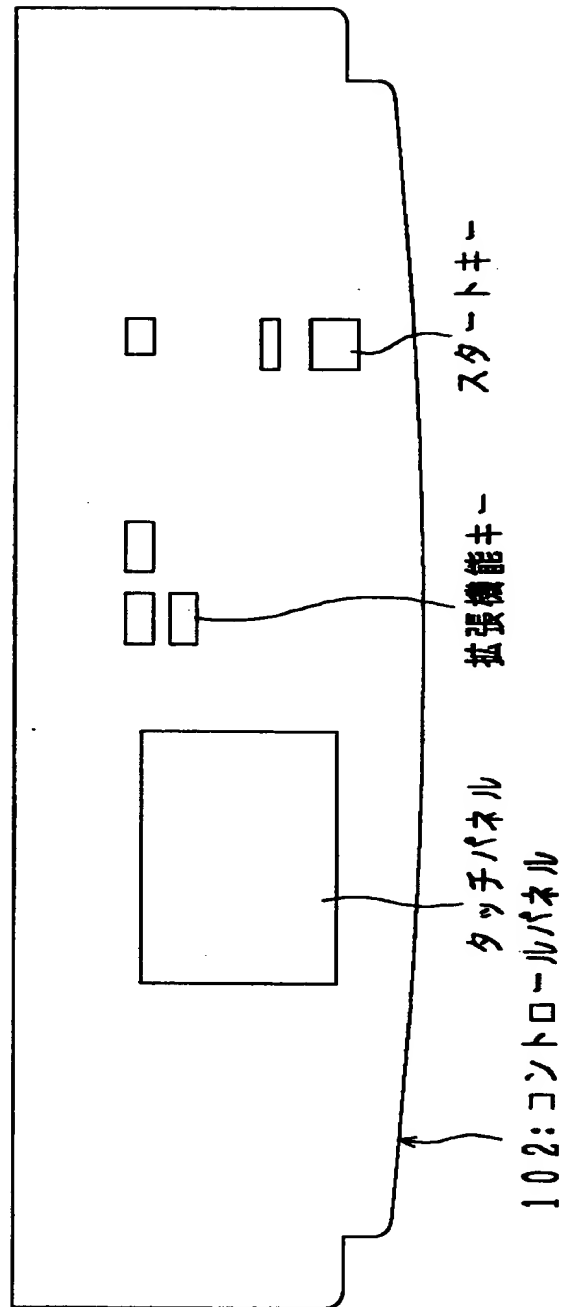
【符号の説明】

- 1 文書画像入力手段
- 8 パターン合成手段
- 9 出力手段
- 1 3 画像読み取り手段
- 9 7 記憶手段
- 1 0 0 対話型操作手段
- 1 0 1 表示入力制御部
- 1 0 2 コントロールパネル

3 0 0 文書管理手段

【図2】

コントロールパネルの概略概観図



【図3】

登録時におけるタッチパネルの状態

機能選択画面

機能を選択してください

(a)

| | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 登録 | 取り出し | 管理 | プリンター |
| 登録先 | 本体 | リモバブル | サーバー |
| アクセス権 | 個人 | グループ | フリー |
| 登録解像度 | 600dpi | 300dpi | 200dpi |
| OK | | | |

表紙形態表示エリア

(b)

文書登録できます

| | | | |
|--|--|---|----------|
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> A4 <input type="checkbox"/> 400% <input type="checkbox"/> 400% | | <input checked="" type="radio"/> A4 <input type="checkbox"/> 4 | ノーマル |
| <input type="checkbox"/> うすく オート <input checked="" type="checkbox"/> こく | | | 表紙形態 |
| 文字 文字/写真 写真 | | | ズーム |
| キャンセル 用紙サイズ選択 | | | 集約・分割 |

登録形態選択画面

表紙形態表示エリア

(c)

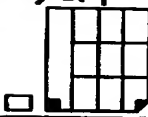




| | | |
|----------|-----------|-----------|
| ノーマル | サムネール | ファクス用 |
| ノーマル | サムネール | ファクス用 |

【図 4】

取り出し時におけるタッチパネルの状態

(a)

機能選択画面

| | |
|--|---|
| 印刷枚数 4 5 6 | |
| 登録 | 取り出し |
| 表紙 | ID入力 |
| 文書属性表示 | |
| サムネール  | 仕上げ シフトスタック  |
| 文書形態 | 用紙 A4  |
|  | 始紙  |

(b)

属性表示画面

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| 文書属性表示中 ページ指定できます。OKキーで開始します | |
| 文書ID 0123456 | ページ数 20 ページ |
| 保存日 07.12.08 | 保存形態 A4 |
| 入力元 コピー | 印刷ページ指定 02 ~ 999 |
| 保存ユーザー 34567890 | |
| アクセス権 個人 | なし あり |
| キャンセル OK | |

【図 5】

文書コピー時におけるタッチパネルの状態

(a)

機能を選択してください

| | | | |
|-------|------|--------|-------|
| 登録 | 取り出し | 管理 | プリンター |
| 文書コピー | | 文書移動 | |
| 文書削除 | | 表紙取り出し | |

機能選択画面

(b)

文書コピー
設定内容を確認し、スタートしてください。

| | | |
|--------|--------|----------|
| 文書設定 | ID入力 | 期間・入力元指定 |
| 表紙 | | |
| 文書属性表示 | なし | あり |
| コピー先 | リムーバブル | サーバー |

キャンセル

コピー設定画面

(c)

期間入力元、登録者
を指定し、OKを押してください

| | | | |
|-----|--------|-------|---------|
| 期間 | | ～ | |
| 入力元 | アクセス装置 | プリンター | アクセス受信機 |
| 登録者 | 本人 | 登録他者 | 未認証者 |

キャンセル OK

期間入力指定画面

(d)

文書属性表示中
スキャン指定できません、OKキーで開始します

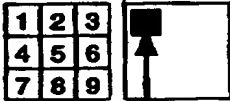
| | | | | |
|--------|----------|------|-----|-----|
| 文書ID | 0123456 | ページ数 | 23 | ページ |
| 保存日 | 07.12.05 | 保存形態 | ALL | |
| 入力元 | コピー | コピー | | |
| 保存ユーザー | 3456789 | | | |
| アクセス権 | 本人 | 中止 | | 実行 |

キャンセル OK

コピー元属性表示画面

【図 6】

デフォルト値格納手段の内部構成例 (1/3)

| 画面番号 | 設 定 モ ー ド | 設 定 内 容 | 工場設定値 |
|------|---|---|--------|
| 1/2 | 00 取出し文書へのDD コード付加 | 取出す文書へのDDコード印字設定 ● 付けない、付ける | 付けない |
| | 01 保存形態デフォルト (サムネール) (ファクス)  大きい DDコードマーク | 保存時の表紙印刷書式設定 ● ノーマル、サムネール、ファクス用 ノーマル: 原稿と同じ書式 サムネール: 1枚に最初の9ページ 分のイメージを印字 した書式 ファクス取り出し用*2: 大きい DDマークを印字 (*ファクス機能付機種のみ) | ノーマル |
| | 02 文書取出し形態デフォ ルト | 文書取出し時の形態を設定 ● ノーマル(全ページ)、サムネール(9イン1) | ノーマル |
| | 03 表紙取出し形態デフォ ルト | 表紙の印字書式を設定 ● ノーマル、サムネール、ファクス用*2 | ノーマル |
| | 04 保存解像度デフォルト | 登録時の解像度を設定 ● 600dpi、300dpi、200dpi (300/200dpi は文字モード時のみ) | 600dpi |
| 2/2 | 05 リムーバブルのフォー マット | ZipディスクをDDメモリー用にフォーマットする。 フォーマット手順: ①IDカードを挿入またはユーザーIDを入 力する ②Zipディスクを本体のディスク駆動装置 に挿入する ③「開始」、「OK」の順にクリックする*1 | |
| | 06-08 (未使用) | | |
| | 09 キーオペレーター専用 | キーオペレーター専用画面を開くため暗 証番号を入力する。 | |

【図 7】

デフォルト値格納手段の内部構成例 (2/3)

| 画面番号 | 設 定 モ ー ド | 設 定 内 容 | 工場設定値 |
|------|-------------------|--|-------|
| 1/4 | 00 保存時のアクセス権デフォルト | 登録時のアクセス(セキュリティ)権を設定 ● 個人、グループ、フリー (セキュリティなし) | 個人 |
| | 01 (未使用) | | |
| | 02 (未使用) | | |
| | 03 (未使用) | | |
| | 04 (未使用) | | |
| 2/4 | 05 (未使用) | | |
| | 06 属性表示、取出し | 文書取出し時の属性表示を設定 ● 表示しない、表示する | 表示しない |
| | 07 (未使用) | | |
| | 08 (未使用) | | |
| | 09 属性表示、文書管理 | 文書管理時の属性表示を設定 ● 表示しない、表示する | 表示しない |

【図 8】

デフォルト値格納手段の内部構成例 (3/3)

| 画面番号 | 設 定 モ ー ド | 設 定 内 容 | 工場設定値 |
|------|-----------------------|--|--------|
| 3/4 | 10 AE機能 | AE(自動原稿濃度調整)機能の設定 ●機能なし、あり優先、なし優先 | あり優先 |
| | 11 画質デフォルト | 登録する原稿の形態を設定 ●文字(主体)、文字写真(混在)、 写真(主体)(写真=イメージを含む) | 文字 |
| | 12 コントラスト、写真 モード | 写真モード時のコントラスト(濃度)設定 ●弱2、弱1、中、強1、強2 | 中 |
| | 13 コントラスト、文字写 真モード | 文字写真(混在)モード時のコントラスト (濃度)設定 ●弱、中、強 | 中 |
| | 14 シャープネス、写真 モード | 写真モード時のシャープネス(くっきり 出す度合い)を設定 ●弱、中、強 | 中 |
| 4/4 | 15 シャープネス、文字写 真モード | 文字写真(混在)モード時のシャープネス (くっきり出す度合い)を設定 ●弱、中、強 | 中 |
| | 16 シャープネス、文字 モード | 文字モード時のシャープネス (くっきり出す度合い)を設定 ●弱、中、強 | 中 |
| | 17 拡張メニューデフォ ルト | 拡張機能基本画面のデフォルトメニュー 画面を設定 ●プリンター、DD保存、DD取り出 し、DD管理 | DD取り出し |
| | 18 (未使用) | | |
| | 19 (未使用) | | |

【図 9】

属性管理テーブルの内部構成例

| 文書ID | ページ数 | 画像サイズ | 登録方法 | 登録年月日 | 登録時間 | ユーザID | アクセス権 | メディアID |
|----------|------|-------|-------------|------------|----------|-------|-------|--------|
| 00000001 | 3 | A4 | COPY | 1997.01.29 | 20:10:45 | 0003 | OWNER | 0000 |
| 00000002 | 4 | B4 | FAX RECEIVE | 1997.02.01 | 06:05:05 | 0000 | PRER | 0000 |
| 00000003 | 6 | A4 | FAX SEND | 1997.02.01 | 09:17:55 | 0006 | GROUP | 0000 |
| 00000004 | 3 | A4R | PRINT | 1997.02.03 | 10:10:09 | 0003 | GROUP | 0001 |
| 00000005 | 3 | A4R | COPY | 1997.02.03 | 11:30:30 | 0003 | GROUP | 0000 |
| | | | | | | | | |

↑ T10:属性管理テーブル

【図 10】

マーク付き表紙の説明図

【書類名】 明細書
 【発明の名称】 画像情報処理装置
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 文字または数字の組み合わせからなる画像識別子を付与された識別子付き画像および画像に付与するインデックス情報を保持する記憶手段と、画像識別子を表示する識別子表示手段と、前記各手段を制御する制御手段と、画像を読み取る画像読み取り手段とを備え、

画像読み取り手段がインデックス情報または特定のインデックス情報を選択したことを示す選択情報が記述されたインデックスシートを読み取って得られたインデックス情報または前記選択情報と画像識別子を入力し、前記記憶手段が保持する識別子付き画像のうち入力した画像識別子と同一の識別子付き画像に、入力したインデックス情報または前記選択情報を付与することを特徴とする画像情報処理装置。

【請求項 2】 文字または数字の組み合わせからなる画像識別子を付与された識別子付き画像および画像に付与するインデックス情報を保持する記憶手段と、画像識別子を表示する識別子表示手段と、前記各手段を制御する制御手段と、画像を読み取る画像読み取り手段とを備え、

画像読み取り手段が画像識別子または記号化した画像識別子が記述された画像特定シートを読み取って得られた画像識別子とインデックス情報または特定のインデックス情報を選択したことを示す選択情報を入力し、前記記憶手段が保持する識別子付き画像のうち入力した画像識別子と同一の識別子付き画像に、入力したインデックス情報または前記選択情報を付与することを特徴とする画像情報処理装置。

【請求項 3】 文字または数字の組み合わせからなる画像識別子



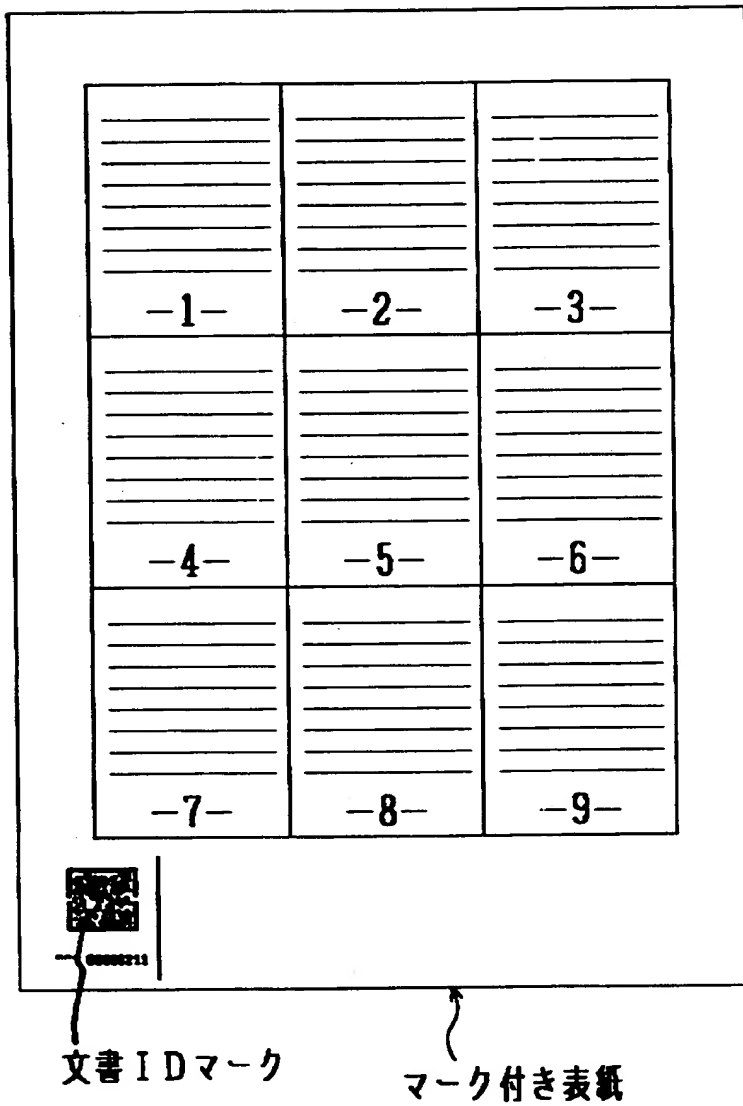
00000211

文書 ID マーク

マーク付き表紙

【図 1 1】

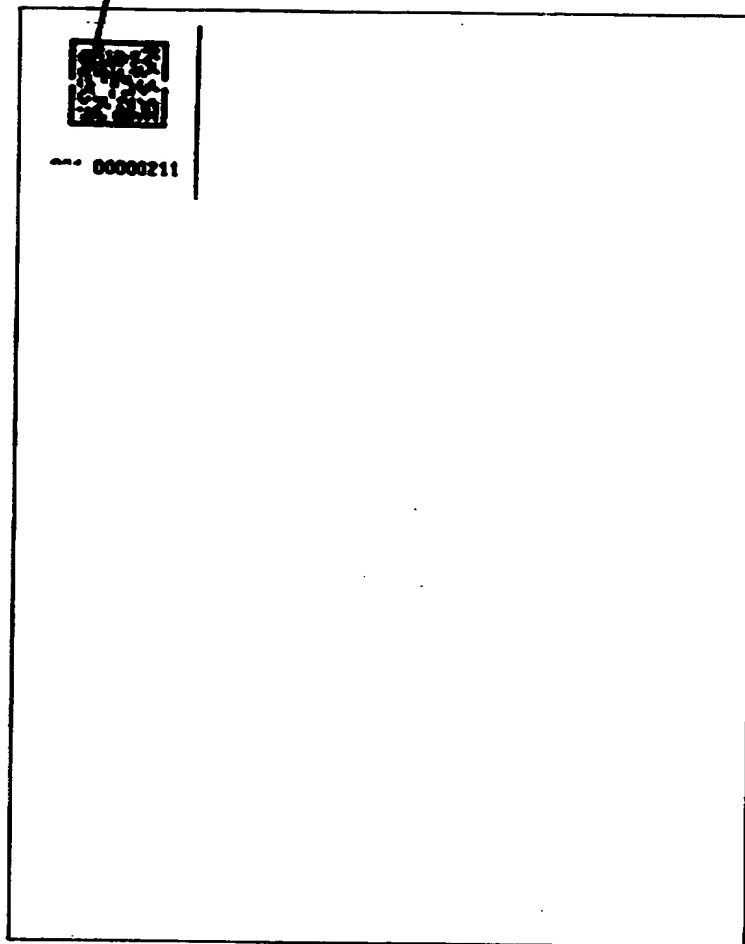
マーク付き表紙（サムネール）の説明図



【図 12】

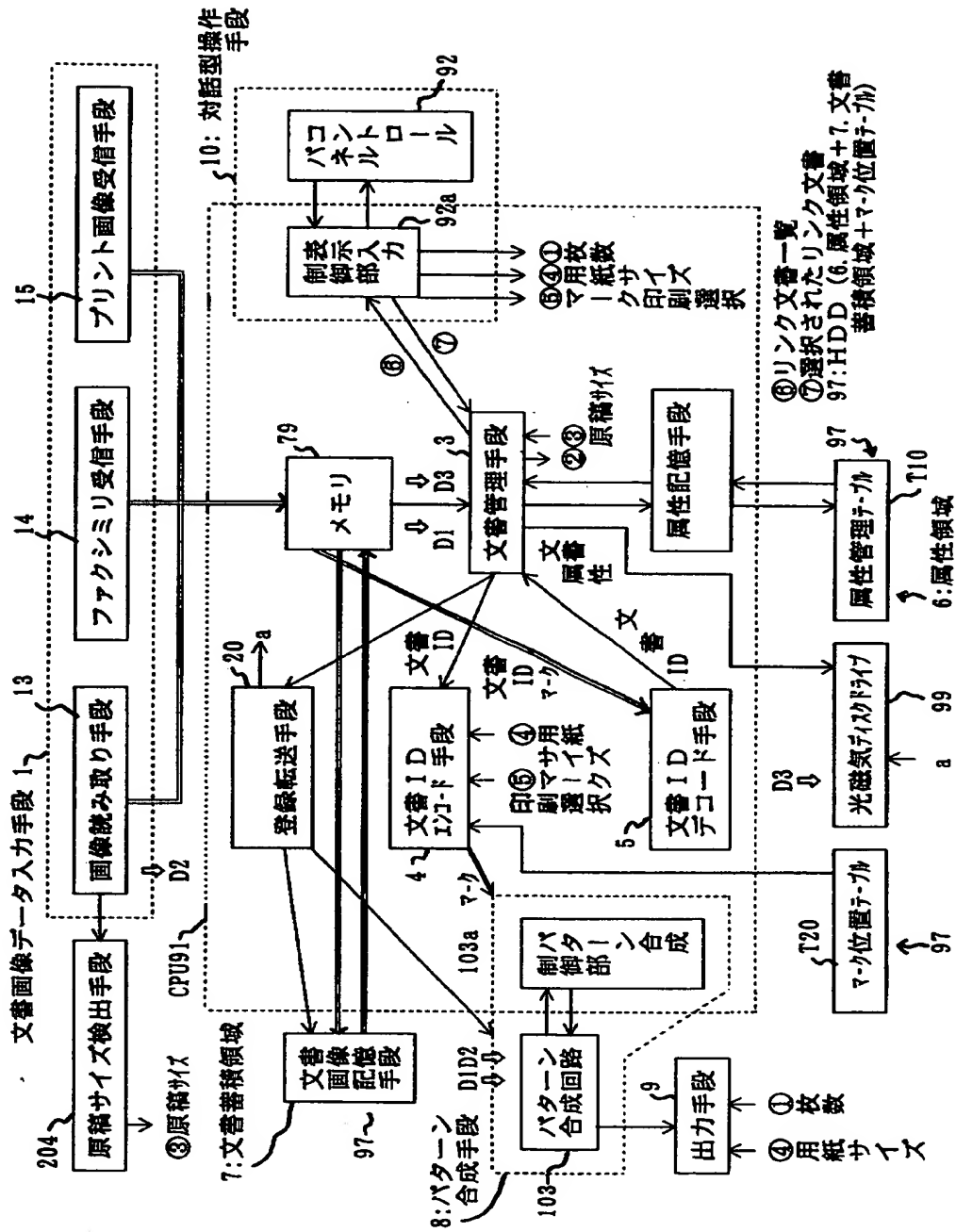
マーク付き表紙（ファクス用）の説明図

文書IDマーク



マーク付き表紙

従来のデジタル複合機の概略機能ブロック図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 登録や取り出しに関する各種事項を簡便な操作で選択できるようにしたデジタル複合機を提供する。

【解決手段】 文書画像データの登録および取り出しが可能なデジタル複合機において、対話型操作手段 10 は、登録あるいは取り出しの指示を受けたとき、登録あるいは取り出しに関する各種事項をユーザに問い合わせるとともに該問い合わせに対してユーザが指定した情報に基づいて文書管理手段 300 に指示をする。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日 1990年 8月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地

氏 名 松下電器産業株式会社